

6月13日(水) 午後2回 13:30～、15:30～
 7月23日(月) 午後2回 13:30～、15:30～
 8月21日(火) 午後2回 13:30～、15:30～

※収録の上、後日NHK「カルチャーラジオ」で放送

小泉八雲の文学と その背景 (全6回)

講師：島根県立大学短期大学部名誉教授、

小泉八雲記念館館長

小泉 凡



アイルランド人の父とギリシャ人の母との間に生を享けたラフカディオ・ハーン(1850-1904)。19歳でヨーロッパを離れてアメリカへ渡り、ジャーナリストとして活動した後、39歳で日本の土を踏み、松江・熊本・神戸・東京と移り住んだ。1896年に日本に帰化し小泉八雲と名乗る。地球半周を優に超える片道切符の人生旅行で得た体験と知識は、オープン・マインドな精神性と多面性を醸成した。

明治維新から150年を迎える今年、おもに八雲の代表作『知られぬ日本の面影』(ルポルタージュ紀行文)と『怪談』(再話文学)を通して、そのようなユニークなキャリアをもつ作家小泉八雲が五感でとらえた明治日本の姿を浮き彫りにしたい。さらに、後世の人々に与えた影響や、現代に活かされる事績とそこに底流する精神性の魅力に迫りたい。

講師は、小泉八雲のひ孫。ひ孫ならではの小泉八雲像を語る。

《エピソード》小泉八雲と語り部たちの系譜／小泉八雲とアメリカ～クレオール文化を題材とする作品群／『知られぬ日本の面影』①耳の文学、目の文学／『知られぬ日本の面影』②山陰の風景／『知られぬ日本の面影』③出雲大社／怪談の再話①～八雲の再話文学と「耳なし芳一」／怪談の再話②～「雪女」をめぐる物語～／怪談の再話③～生まれ変わりの物語～／家庭における小泉八／フォークロリストとしての小泉八雲～護符の蒐集をめぐる～／八雲の文学とその影響①小村寿太郎、ボナー・フェラーズ②柳田國男と白樺派の作家たち／文化資源として現代に活かされる小泉八雲

お申込方法

○電話予約 NHK 文化センター青山教室
電話 03-3475-1151

○インターネット (青山教室トップページ)
<https://www.nhk-cul.co.jp/school/aoyama/>
より「小泉八雲」で検索。カード決済。



受講料

全6回 会員 9,460円 一般 10,821円

※1回受講何度でも可。

1回 会員 1,670円 一般 1,880円

※学生・大学生 無料 (要予約)

NHK 文化センター青山教室

〒107-8601 東京都港区南青山 1-1-1 新青山ビル西館 4階
地下鉄「青山一丁目」直結・下車すぐ

